

第2回令和9年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和8年7月6日（月） 13時30分～

委員長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。ただいまより第2回令和9年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。

それでは、本日の次第を御覧ください。今回、御審議いただく内容は、議題1「令和9年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」と、議題2「令和9年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点でございます。

それでは、事務局より本日の資料等について説明をお願いいたします。

事務局

今回御審議いただく教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定された教科用図書です。特別支援教育に関する教科用図書については、児童生徒の実態に合った一般図書を充ててもよいとされているものでございます。

5月8日から5月14日までの土日を除く計5日間、県立総合教育センターにて展示会が開催され、白浜養護学校と市内小中学校特別支援学級の教員が、展示されている図書を見ながら、在籍する児童生徒の実態や次年度入学する児童生徒を想定して調査研究を行い、その結果について該当学校から教科用図書調査書が提出されております。

それでは、資料の説明をいたします。

まず、サイドテーブルを御覧ください。そちらには「令和9年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」と特別支援教育関係教科用図書見本本の一部が展示してあります。「令和9年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図

書調査書」は、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教師に調査研究させたものを簿冊としたものです。

次に、「令和 9 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。これは「令和 9 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書」を基に事務局でまとめたものです。

資料の 1 ページをお開きください。この一覧表は附則第 9 条による図書を 4 つに分けて表記してあります。一覧表の右上のところを御覧ください。まず、1 つ目は「新」の文字を記載したもので、これは今回調査研究をした結果、新たに教科用図書としてふさわしいものとして提出された新規図書でございます。2 つ目は「□」の記号を記載したもので、これは昨年度採択された図書で、本年度の調査研究の結果、複数の種目において教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。3 つ目は「●」の記号を記載したもので、これは昨年度採択された図書で、令和 8 年度に発行者による供給が困難となった図書でございます。最後、4 つ目は無印のもので、これは、昨年度採択され、本年度も教科用図書としてふさわしいと調査された図書でございます。

なお、資料 1 として、25 ページから 30 ページに新規図書と複数種目で希望のあった図書等を一覧表にしてお示ししてございます。この資料には、児童生徒一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた上で、各学校が一人ひとりに適した教科用図書として選定した理由を記載してございます。

続きまして、23 ページを御覧ください。ただいま説明をいたしましたもののほかに、一般図書として点字教科書・拡大教科書がございます。また、令和 9 年度使用小学校用教科用図書、令和 9 年度使用中学校用教科用図書、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書も採択可能な教科用図書として記載してございます。

なお、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書につきましては、資料２として３１ページから３４ページにお示ししてございます。これは第１回の審議委員会で資料として「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和９年度使用）」をお渡しいたしました。この中で聴覚障害者用として言語指導の図書と、知的障害者用として挙げられております☆印本と呼ばれている図書でございます。

それから、一般図書を採択希望する場合の留意事項につきまして、３５ページに資料３として記載させていただきました。
以上で資料の説明を終わります。

委員長 ありがとうございました。

ただいま資料について説明がありました。なお、「令和９年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」につきましては、個人情報等の関係がございますので、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（ 各委員了承 ）

委員長 ありがとうございます。

それ以外に資料等について何か御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（ なし ）

委員長 では、ないようですので、審議に入ります。

新規の図書については、本審議委員会が初めて審議する場になっておりますので、慎重な審議をお願いしたいと考えます。
どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これから審議してまいりたいと思いますが、審議

の進行について何か御意見はございますでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 今年度も各学校から障がいの特性や発達段階など、児童生徒の実態に応じて選定された一般図書がたくさん出されています。特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちにとってふさわしい教科書として、附則第9条によって教科書として使用できる一般図書をできる限り数多く用意することが必要だと考えます。

委員長 ありがとうございます。ほかに御意見はいかがでしょうか。
梶浦委員。

梶浦委員 私も宮崎委員と同じ考えです。今回、各学校で調査研究をした結果、教科書にふさわしいものとして、新規図書、複数の種目で使いたいという一般図書が多く出されております。本校の調査の様子を見ましても、児童一人ひとりの実態を踏まえて選定しておりました。採択の幅を広げるためにも、今までに教科用図書として採択してきた一般図書は引き続き採択し、今年度、新規の図書として出された一般図書について審議する方向がよいと思います。

委員長 ほかにいかがでしょうか。では、吉崎委員。

吉崎委員 私も同じように考えます。この調査書まとめに示されている複数の種目で申請のある「□」の印の図書や、今年度新たに希望が出ている「新」の図書について審議していくのがよいのではないのでしょうか。

委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

委員長 それでは、ただいまの御意見を受けまして、各学校から希望が出ている一般図書について教科用図書として使用できる方向で考えていくことと、これからの審議の進行については、新規の図書と複数の種目で希望が挙げられている図書について審議していくということによろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長 それでは、そのように審議を進めてまいります。

調査書まとめの印で言いますと、「新」と書かれた新規図書、そして、「□」の印がついている複数種目で希望がある図書について御意見を伺いたいと思います。新規図書や複数種目で希望がある図書については、No. 1 の国語・書写から No. 10 の道徳までの種目に合計 39 冊入っております。

審議につきましては、学校からの調査書には、どんな特性のある児童生徒にどんな教科書がふさわしいかという点が挙げられていることから、子どもたちの実態や特性という視点から御意見を伺いたいと思います。

審議の都合上、初めに No. 1 の国語・書写と No. 2 の算数・数学、次に、No. 3 の生活・地図・社会から No. 6 の図工・美術、最後に No. 7 の家庭・職業家庭から No. 10 の道徳の 3 つに区切って審議を進めたいと思います。

それでは、No. 1 の国語・書写と No. 2 の算数・数学の教科領域で申請が上がっている 16 冊の図書について御意見を伺いたいと思います。御意見のある委員の方はお願いいたします。武田委員。

武田委員 私は教科領域No. 2の算数・数学の中から3番の「たしざんカード」について述べさせていただきます。足し算を視覚的に捉え、反復練習により、計算の基礎定着を図ることができる教材だと思います。また、読み上げながら計算の学習をすることにより、数の世界に入りやすい工夫がされていると思いました。

委員長 ほかに意見はございますでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私も3番の「たしざんカード」について述べさせていただきます。数式だけが記入された、とてもシンプルなカードのため、余計な刺激に左右されず、集中して足し算の学習に取り組むことができると思います。

委員長 ほかに意見はございますでしょうか。武田委員。

武田委員 同じく算数・数学領域の2冊について述べさせていただきます。2冊とも子どもたちの発達段階に応じて、数量の基礎的、基本的な概念を理解できるような構成になっていると思います。

2番の「小5算数をひとつひとつわかりやすく。改訂版」については、スモールステップで学べる工夫がされています。カラーのイラストやシールは子どもたちの学習意欲を高めることにつながり、数学に興味関心を持ってわかりやすく学べ、基礎基本の定着に適していると思います。

次に、1番「全問ヒントつきでニガテでも解ける 中1計算」についてです。ヒントを参考にしながら、先ほどの2番と同じく、スモールステップで学べる工夫がされている図書です。学習指導要領、数と計算に対応しているだけでなく、図形分野の計算も記載されており、数学の全分野の基本的な計算の力をつけるためにふさわしいと思いました。

委員長 ほかにございますでしょうか。梶浦委員。

梶浦委員 私も算数・数学の教科領域で上がっている図書について述べさせていただきます。4 番の「初級編ステップアップ マッチングⅡ」は、ページごとの課題の量が少なめですので、集中力を持続することができて、子どもたちが達成感を持てると考えます。また、既に国語・書写で採択されており、今回は算数・数学での審議となりますが、課題によっては図工の要素も見受けられ、個に応じた多様な活用が期待できると思います。

 以上です。

委員長 ほかに意見はございますでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私は算数・数学領域の 2 冊についてお話しさせていただきます。

 まず、7 番の「CD 付やさしいコグトレ 認知機能強化トレーニング」ですが、付録に CD がついていて、プリントして使用することができるため、最初はできなくても、繰り返し学習することで、レベルアップや定着を図ることができます。また、各課題にその課題の進め方や、つけたい力、指導のポイントも載っているため、児童生徒の実態に合わせ活用することができますのも魅力的です。この本は、自分で読んで進めていくという使用方法ではなく、教員がしっかり読み込み、授業で使用することで、算数・数学の導入の数の概念を学ぶことができると感じました。

 次に、6 番の「るるぶ 地図でよくわかる都道府県大百科」ですが、小中学校でよく利用する地図帳に似た地図が掲載されたページと、旅行雑誌の「るるぶ」のような御当地グルメが載ったページ、データ比較が掲載されたページなど、写真も多く、ビジュアルで楽しく学べる本となっていて、いろいろな教科の

学習に使用できると思います。算数・数学の授業で使用する場合は、学習指導要領の数学のデータの活用の、身の回りにあるデータを簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりすることの場面で活用できると思います。

委員長 そのほかいかがでしょうか。梶浦委員。

梶浦委員 私は、算数・数学の領域、5番の「さわってあそぶコロちゃんのおじょう」について述べさせていただきます。この本は、後で見ていただけると分かるんですけども、カラフルで分かりやすい絵、触る部分の素材のチョイスがとてもすばらしくて、言葉でのコミュニケーションが難しい児童にとって、触れることでイメージが広がる良質な絵本だと思います。指導者が、触覚を楽しみながら絵に興味を持ち、さらに、数を意識して絵本を読むということを意識して指導することで、効果的な活用につながると考えます。

委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。武田委員。

武田委員 私は国語・書写の教科領域の中から5番の「NEWふわふわもこもこどうぶつたち」について述べさせていただきます。動物の大きなイラストとともに、いろいろな素材の手触りやオノマトペを楽しみながら、平仮名や片仮名を学べる工夫がされています。読み聞かせや子どもたちに音読をさせるのにもふさわしく、言葉を覚える学習にふさわしいと思います。

続いて、同じく国語・書写領域から1番の「小学ひとつひとつわかりやすく 小5国語をひとつひとつわかりやすく。改訂版」と、3番の「言葉と文法にぐーんと強くなる 小学5年生」について述べさせていただきます。どちらもイラストなどの視覚的な資料とともに、丁寧な例題と基本問題が適量掲載されて

いる図書です。興味関心を持ちながら、言葉や文法の基礎などを学べる構成になっていると思います。また、直接書き込めるようになっているため、取り組んだ成果が現れ、子どもたちにとって自信につながると思います。基礎基本の力が確実に定着し、言葉で表現する力を育てるためにふさわしい教材であると思いました。

委員長 そのほかいかがでしょうか。梶浦委員。

梶浦委員 私も国語・書写領域で申請が上がっております2冊について意見を述べさせていただきます。

まず、7番の「ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク2－1」です。基本的に、上段が問題文、下段が問いというつくりになっており、問題に取り組みやすいと思います。また、後ろにある解答例の指導者向けの解説部分が充実しており、児童の発達段階や実態に合わせた多様な使い方ができると考えます。

続けて、9番の「国語習熟プリント小学2年生大判サイズ」についてです。本書の特徴として、前書きに書かれている太めの手書き風文字というフォントが視覚的に軟らかで、なじみやすい印象を受けました。また、大判のため、ある程度、問題数が多くても圧迫感がなく、児童が自分のペースで集中して取り組めると思います。

委員長 そのほかいかがでしょうか。太田委員。

太田委員 私は3冊お願いします。まず、国語・書写の2番「小学ドリル国語 1年生のひらがな・カタカナのかきかた」について述べさせていただきます。この図書は、特別支援学級の児童にとって、文字を書くことへの基礎的な力を育てる上で有効な教材で

あると考えます。平仮名や片仮名の正しい筆順や字形を1面ずつ丁寧に、なぞりながら学べるので、書字に困難さのある児童でも無理なく取り組むことができると考えます。また、繰り返し学習によって、書けた、できたという成功体験を積み重ねることができ、自己肯定感や学習意欲の向上が期待できます。

次に、国語・書写の4番「こどももののなまえ絵じてん増補新装版小型版」について述べさせていただきます。言葉の習得やコミュニケーション能力の向上に有効な教材です。特別支援学級の児童の中には、言葉の意味や使い方を理解することに課題があったり、経験と言葉が結びつきにくかったりする児童がいます。本図書は、豊富なイラストを用いて、身近なものの名前を分かりやすく紹介しているため、視覚的な支援を必要とする児童にも理解しやすいと考えます。また、生活場面と関連づけながら言葉を学ぶことができるため、学んだ語彙を実際の会話や日常生活の中で活用する力を育むことが期待できると考えます。

最後に1冊、国語・書写の8番「るるぶ 地図でよくわかる世界の国大百科」について述べさせていただきます。特別支援学級の生徒の中には、文章だけでは内容を理解することが難しく、写真やイラストなどの視覚的な情報から学習を進めることが得意な生徒がいますが、本図書は、豊富な写真や地図、イラストを用いて、世界各国の特色を分かりやすく紹介するため、生徒が興味を持ちながら学習に取り組むことができると考えます。また、国ごとの文化や生活、食べ物、自然などが視覚的に示されていることで、生徒が具体的なイメージを持ちやすく、世界の多様性について理解を深めることができます。自分たちの生活との違いや共通点に気づき、異なる文化や価値観を尊重する態度を育むことにもつながると考えます。

委員長

ほかに御意見ございますでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私も国語・書写領域で申請が上がっております6番の「ひとりだちするための進路学習」について述べさせていただきます。この本は既に家庭・職業家庭や生活・理科でも採択されておりますが、国語の学習でも、学習指導要領の思考力、判断力、表現力等の読むことの目標である、日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動することの学習で利用することができます。また、学習指導要領の、生徒の障がいの状況や特性及び心身の発達の段階等に応じ、興味関心のある話題や身近な題材から、日常生活や社会生活及び職業生活に関連する題材まで、様々な種類や形式の文章を取り扱う機会を設けることに該当します。各ページに直接記入できるようになっており、書くことの学習や、中学3年生で面接練習を通し、話すことの学習をするときなどにも利用しやすいと思います。

以上です。

委員長 そのほかに。では、川口委員。

川口委員 私も国語・書写の6番目「ひとりだちするための進路学習」について述べさせていただきます。これは一番最初に開いたときに、エントリーシートのようなものが出てきて、自分が将来、何をしていいか分からない子どもとか、自分は何が得意か、自分をよく知らない子どもにとって、あなたの得意な科目は何ですか、尊敬する人は何ですかみたいな、具体的なエントリーシートのようなものがあって、それを書くことによって自分を知ることができて、いいのではないかなと思いました。また、活字だけを読んで理解できない子どもにとっても、絵本形式になっていて、分かりやすく本当によいかなと思いました。

委員長 ありがとうございます。ほかに御意見いかがでしょうか。では、1 つ目のパートについてはよろしいでしょうか。

(なし)

委員長 それでは次に、No. 3 の生活・地図・社会からNo. 6 の図工・美術の教科領域で申請が上がっている10冊の図書について御意見を伺いたと思います。

それでは、御意見のある委員の方、よろしくお願いいたします。太田委員。

太田委員 私は生活・地図・社会の3番「写真図鑑カード はたらく自動車カード」について述べさせていただきます。本図書は、写真カードを用いて、様々なはたらく自動車を分かりやすく紹介しています。自動車への興味関心が高い児童にとって意欲的に学習へ取り組めるようになる教材です。カード形式のため、1枚ずつ見ながら、名称や役割を確認したり、仲間分けや比較をしたりする活動がしやすく、特別支援学級の児童の実態にも適しています。また、身近な車が社会の中でどのような役割を果たしているかを具体的に理解することができるため、生活科や社会科の学習において、社会とのつながりを学ぶ教材として有効です。写真が中心で視覚的に理解しやすく、言葉だけでは理解が難しい児童にも活用しやすいと考えます。

委員長 そのほかいかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 視覚が優位な児童生徒にとっては、イラストを豊富に用いた教科書は理解しやすく、定着が進むと思います。私は2番の「一生つかえる！おまもりルールえほんぼうさい」についてお話しさせていただきます。近年、防災教育について、学校でも具体

的な取組が必要とされる中、特別支援学級の避難訓練や防災教育については、工夫と丁寧な取組が必要であると思います。実際に起きているわけではない事柄に対して、この著書は、子どもたちに親しみやすいイラストを用いながら、災害時の具体的な行動や持ち物、また、保護者向けのページも記されており、親子で災害時の行動について学ぶことができるような構成となっています。生きる力を育むという点においても、学校で学ぶ安全教育の教科書として適していると考えます。

委員長 そのほかいかがでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 教科書といえばですけれども、私は生活・地図・社会の中から1番「小学ひとつひとつわかりやすく 小5社会をひとつひとつわかりやすく。改訂版」についてお話しさせていただきます。まず目に入るのが柔らかな印象のイラストです。一般的に社会科の参考書やドリルは、実物写真や図表、詳細な解説が添えられていて、知識を得たり、思考を深めたりするには有効ですが、特別支援学級に在籍する生徒にとっては理解が難しい場合があります。その点、この図書は、イラストからイメージを持たせ、押さえるべき重要ポイントを視覚的に示し、理解を助けることができます。また、平易な文で少ない文字数の解説は抵抗感がなく、生徒が取り組みやすいと考えます。難易度、量ともに適切で、学習意欲の向上が期待でき、社会科の基礎基本の習得に適していると考えます。

以上です。

委員長 ほかに御意見はございますでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私は生活・理科領域で意見を述べさせていただきます。1番の「はっけんずかん きょうりゅう新版」は、リアルな恐竜の絵

が多数載っていて、恐竜の名前や体長、何を食べていたか、見つかった国なども記載されています。また、恐竜の絵だけでなく、どこで発見されたか、骨の状態も載っており、歴史や生物の学習としても興味深く、文字も平仮名で大変読みやすいです。また、文字を読むことが苦手な児童生徒も仕掛けをめくる好奇心をそそられる図書となっていて、自然科学への興味関心を引き出すことができ、生活・理科の学習に適していると思いました。

委員長 ほかにいかがでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 私も生活・理科の領域の中から2冊について述べさせていただきます。まず、3番の「きむらゆういちのパッチン絵本 おおきくなったら」についてですが、この図書は、自分で本を操作しながら、生き物の成長を学ぶことができます。本を引っ張るとパチンと音が鳴り、成長後の姿が現れる工夫は、特別支援学級に在籍する児童にとって好奇心を引き出す楽しい学習になると考えます。また、生活科の学習内容である身近な自然との触れ合いにも合致する内容です。この本をきっかけに自然を観察したり、生き物を飼ったり、育てたりするなどして、その成長過程に興味を持ったり、生命を大切にする心を育むことが期待できます。最後の「ぼくがおおきくなったら『おとうさん』」というところは、学習の中で自分の成長を思い描き、将来の姿を想像したり、家族のことを思いやる機会が生まれるのではないかと考えます。

さらに、同じ領域の4番「つかめ！理科ダマン1 「科学のキホン」が身につく編」についてです。中学生が好みそうな漫画形式で、読むだけでこの図書の世界に引き込まれます。主人公が失敗を繰り返しながら、科学の疑問や不思議の解明に取り組むところは親近感が湧いて、とても魅力的であるだけではなく

て、科学的根拠を基にした解説は、簡潔で理解しやすいものになっています。また、幾つかの実験は身近な物品で準備が整うことから、実際に学校での理科の授業で取り組むことができると思います。実生活の中にある科学について、仮説を立て実験を行い、記録を取って考察するという、中学校理科の実験におけるプロセスを楽しみながら、主体的に学習することができると思います。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。川口委員。

川口委員 私も生活・理科の3番目の「きむらゆういちのパッチン絵本 おおきくなったら」について述べさせていただきます。図書の時間など、多分、低学年の児童なんかは30分座ってられない子も多いかと思うんですけれども、こういった引っ張って絵が変化していくものなどは、やっぱり集中して読めていいのではないかなと思いました。何か変化があるところがすごく子どもの興味を引き立てて、例えば集中力がない児童に対しても、15分座って、まず絵本を読む挑戦などにも使える本なのかなと思いました。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。武田委員。

武田委員 私も生活・理科領域から2番の「小学ひとつひとつわかりやすく 小5理科をひとつひとつわかりやすく。改訂版」について述べさせていただきます。国語・書写の領域と算数・数学領域からも申請が上がっている、ひとつひとつわかりやすくのシリーズです。カラーのイラストやシールは子どもたちの学習意欲を高めることにつながり、理科に興味関心を持って、分かりや

すく学べる工夫がされています。基本の定着に適していると思いました。

委員長 ほかに御意見はございますでしょうか。太田委員。

太田委員 私は音楽・器楽の2番「いっばいうたおう！どうようえほん」について述べさせていただきます。児童にとって、音楽に親しみながら主体的に学習へ参加する力を育むことができる図書であると考えます。音声ボタンを押すと童謡が流れる仕組みは、文字を読むことが難しい児童や、言語による理解に課題のある児童でも、視覚と聴覚を活用しながら、楽しく活動に参加できる点が大きな特徴です。また、自分でボタンを選び、操作することで、自分でできたという達成感や成功体験を得やすく、学習への意欲や主体性を高めることにつながると考えられます。親しみやすい童謡を繰り返し聴いたり歌ったりする活動は、発語や言葉の獲得を促すだけではなく、リズム感や表現力、コミュニケーション能力の向上にも効果が期待できます。

委員長 ほかにいかがでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私も今、太田委員からあった2番「いっばいうたおう！どうようえほん」についてですが、30曲が音声ボタンつきで、耳から聞いて、一緒に楽しく歌いながら学習できる図書になっていると思いました。音声ボタンもうたとからおけがあり、そのときに合った使い方ができます。また、昔の童謡だけでなく、「ゲラゲラポーのうた」、「ようかいたいそうだいいち」、「めめしくて」といった曲も含まれており、音楽を楽しむ心を培うことが期待できると思いました。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。武田委員。

武田委員 私は音楽・器楽の領域から1番の「エリック・カールの絵本月ようびはなにたべる？ーアメリカのわらべうた」について述べさせていただきます。これまで国語・書写領域と図工・美術の領域で使用されております。アメリカの童歌を歌いながら、エリック・カールの鮮やかな色彩で描かれた動物のページをめくすることで、音楽の楽しさを感じることができる工夫がされています。月曜から日曜までの毎日の食べ物を歌った童歌は、協働して音楽活動し、豊かな情操を培うことができる図書だと思いました。

委員長 ほかにいかがでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 私も1番の「エリック・カールの絵本月ようびはなにたべる？ーアメリカのわらべうた」について述べさせていただきます。先ほど武田委員もおっしゃっていたように、カラフルでダイナミックなイラストがまず目を引きまします。リズム感のある曲を耳で聞きながら、そして、視覚も同時に刺激され、音楽の楽しさを体で感じることができる図書だと思いました。

委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 私は図工・美術の領域から1番「とっておきの図画工作レッスン 小学1・2・3年生」についてお話しさせていただきます。この本は、絵画の導入として、直線、曲線、点つなぎ、円、図形と、発達の順を追って、導入として、とても課題に取り組めるように編修されていると思いました。また、題材が子どもたちの興味が湧くようなものを取り上げられているところから、楽しく課題を進めることができると考えます。また、こどもの

手指やその力、可動に合わせ、鉛筆やペン、それから、絵の具など、様々な種類から道具を選ぶことができ、発達の状況や興味関心の段階に合わせた工夫がなされていると思います。課題に取り組むに当たり、手順やヒントが丁寧に記されていて、子どもたちが自ら作業を選んで、発達の段階に合わせて作業を進めることができると思います。

委員長 そのほかいかがでしょうか。梶浦委員。

梶浦委員 「とっておきの図画工作レッスン 小学1・2・3年生」について、私も意見を述べさせていただきます。この本は、見開きの左側に学習のめあてや学習活動の進め方、右側がワークシートとなっており、指導者と一緒に丁寧に課題に取り組めると思います。ワークシートが大きくダイナミックで、児童の伸びやかな作品が期待されます。

以上です。

委員長 そのほか御意見ございますでしょうか。では、よろしいですか。

(な し)

委員長 それでは、ここで10分間ほど休憩としたいと思います。事務局より連絡をお願いします。

事務局 それでは、御連絡いたします。今、14時13分ですので、14時23分になりましたら審議を再開いたしますので、3分前の20分になりましたら御着席くださいますようお願いいたします。

それでは、休憩とさせていただきます。

午後 2 時 1 3 分休憩

午後 2 時 2 3 分再開

委員長 それでは、お時間になりましたので、審議を再開いたします。

最後に、No. 7 の家庭・職業家庭から No. 1 0 の道徳の教科領域で申請が上がっている 1 3 冊の図書について御意見を伺いたいと思います。御意見いかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 私は道徳領域から 3 番の「子どもとマスターする 4 9 の生活技術 イラスト版子どものマナー」について述べさせていただきます。基本的な生活習慣をつけていくことや、社会の中で潤滑なコミュニケーションを図っていく上で、エチケットやマナーは不可欠なことと考えています。特別支援学級の子どもたちにとっては、抽象的な表現ではなく、具体的に、どんな場面で、どんな行動がよくて、どんな行動がよくないのか、図を用いて解説されていることは、とても分かりやすく、身につきやすいと考えます。一人ひとりの成長段階に応じて、必要な場面を扱いながら学習を進めていく上で、この図書はどの項目からでも取り扱うことができ、学校での学習教材に適していると思います。

以上です。

委員長 ほかにいかがでしょうか。梶浦委員。

梶浦委員 私も道徳の教科領域から 2 冊述べさせていただきます。まず、7 番「絵で身につく はじめての子どもマナーずかん」です。この本は、身近なルールやマナーについて、イラストや写真で分かりやすく示されています。項目ごとのページのつくりが全体像から具体例となっており、指導者や友達と対話しながら実際の場面を想像した後に、具体的に一つ一つ学んでいくという授

業展開がスムーズに行えると考えます。

また、5 番の「イラスト版子どものレジリエンス 元気・しなやか・へこたれない心を育てる 5 6 のワーク」は、内容が多岐にわたり、様々な場面での活用が期待されます。ページごとに設定されているワークは記述式のものが多いため、児童が直接記入するだけでなく、個や集団の実態に応じて、指導者が各項目にあるような内容を参考にしながら指導するなど、有効活用ができると思います。

委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 では、道徳の領域から、さらに 2 冊述べさせていただきます。まず、1 番の「学校では教えてくれない大切なこと 1 2 ネットのルール」についてお話しいたします。近年、インターネットや SNS 等に関するトラブルは、より低年齢化しており、特別支援学級や特別支援学校においても例外ではないと考えています。ただ、情報モラル教室等でお話をしても、自分事として考えることは難しく、より身近なこととして考えることが大切であると思います。この本は、実際に起こるトラブルについて、単に危険を伝えるだけではなく、分かりやすいイラストを用いて、どうしたらよいのかを具体的に伝えるところがより適していると考えます。

続いて、2 番の「ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑（3）地域・社会生活編」についてお話しさせていただきます。中学校では、より周りの人とのコミュニケーションが多くなり、生活圏、社会集団の中でマナーやルールが大切となり、意識して生活していくことが重要になってくると思います。学習指導要領では、自立活動の内容の一つとして、人間関係の形成について記されています。人と関わっていく中で意識しなければならないこと、気をつけなければならないことについて、様々な場

面を分かりやすく、絵を用いながら説明しており、子どもたちはイメージしやすく、理解が深まることと思います。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。太田委員。

太田委員 私は2冊お願いします。まずは道徳の4番「イラスト版子どものためのモラルスキル 言葉・表情・行動で身につく道徳」について述べさせていただきます。特別支援学級の児童の中には、相手の気持ちや場の状況を読み取ることが難しく、自分の思いを適切に伝えたり、相手に応じた行動を選択することに課題を抱える児童がいます。本図書は、言葉遣いだけでなく、表情や態度、仕草などの非言語的コミュニケーションについても、イラストを用いて具体的に示しており、視覚的な支援を必要とする児童にとって理解しやすい内容となっています。また、身近な生活場面を題材としているため、児童が自分の経験と結びつけながら考えることができます。相手の気持ちを想像したり、自分の行動を振り返ったりする機会を通して、思いやりの心や社会性を育むことが期待できると思います。

もう1冊、道徳の6番「くらしに役立つソーシャルスキル」について述べさせていただきます。特別支援学級の児童の中には、相手の気持ちを理解したり、その場に応じた適切な言動を選択することに難しさを感じる児童がいます。本図書は、挨拶の仕方や頼み方、断り方、友達との関わり方などを具体的な場面ごとに分かりやすく示しており、児童が実際の生活場面をイメージしながら学習を進めることができると考えます。また、イラストや図を用いて視覚的に整理されているため、言葉だけでは理解が難しい児童にとっても分かりやすく、繰り返し確認しながら学ぶことができます。学習した内容を学校生活や家庭生活の中で実践することで、よりよい人間関係を築く力や社会

性の向上につながることを期待します。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。川口委員。

川口委員 道徳の1番「学校では教えてくれない大切なこと12 ネットのルール」について述べさせていただきます。おそらく学年が上がるにつれて、タブレットが欲しい、スマホが欲しいと言われる確率が高くなると思うんですけれども、それを子どもに与える前に、しっかりと注意事項などを漫画形式で書いてあって、本当にいいなと思いました。こういったトラブルが起これば、得るよとか、うまく時間を決めて付き合おうということがうまく漫画形式で書いてあって、自分の子どもにも読ませたいなと思いました。あとは、ルールを守らないとこういったトラブルに巻き込まれるなど、具体的な子どもを守るためのことなどもきちんと漫画形式で書いてあって、すごくいいなと思いました。

以上です。

委員長 そのほか御意見ございますでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 私は体育・保健体育の領域から2番の「からだのふしぎ！ひみつはっけん！」についてお話しさせていただきます。この図書は、登場人物がミクロカプセルに乗り込み、人体の中を冒険するストーリー仕立てになっています。人物などのイラストは易しい漫画風ですが、人体に関するイラストはかなり専門的で、臓器の仕組みや、骨、筋肉、臓器の働きについて、詳細に分かりやすく示されています。体の内部構造に関心を持つことは、自分自身への興味、健康への意識を高めることが期待できます。学習指導要領における自立活動の内容は、障がいによる学習上または生活上の困難を改善、克服するために必要な要素で構成

されていますが、その代表的な項目である健康の保持とも合致する内容だと考えました。

以上です。

委員長 ほかにいかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 私も「からだのふしぎ！ひみつはっけん！」についてお話しさせていただきます。今、宮崎委員がお話しされたように、この本は、子どもたちの好きな冒険仕立てのストーリーが描かれていて、興味深く自分の体について学びを進めることができると思いました。各臓器の役割や重要性、そして、ほかの生き物との比較についても書かれており、楽しく体について学習を進めることができると思いました。

委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。吉崎委員。

吉崎委員 私も体育・保健体育領域から1番の「生理なんでもハンドブック セイリの味方スーパームーン」について述べさせていただきます。第二次性徴を迎える児童生徒に、女性の体の変化や生理について、イラストや漫画で分かりやすく、親しみやすく説明されています。一般的な体の構造だけでなく、生理用品の種類や、汚れてしまった下着の洗い方、洗濯物の干し方など、細かく具体的に載っていて、誰かに聞いたり、教えてもらったりしにくいことも、読んで知ることができます。また、同じ生理のときでも、人により様々であることがインタビューで分かり、気持ち的にも安心できる工夫がされています。図書の最後のほうには、生理のときにするとよい体操や料理レシピも載っていて、様々な場面で活用することが期待できます。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。太田委員。

太田委員 私は、今の図書なんですけれども、6年生という主人公の生理にまつわる困り事の対処方法が親しみやすいイラストで分かりやすく解説してあり、内容も専門的になっていると思いました。特別支援学級の児童にとって分かりやすい内容になっていると思います。

委員長 ほかに御意見はございますでしょうか。宮崎委員。

宮崎委員 私は次の英語領域から1番の「新レインボーはじめての英語図鑑 小学生の英単語カード950」について述べさせていただきます。まず、カードであることは、短時間の繰り返しの学習に効果的です。隙間時間や授業の冒頭や終わりの時間を活用して、毎日必ず取り組むというパターンを構築することができそうです。加えて、自分で自分の単語帳を作ることから始めるという活動は、あらかじめ準備された教材で勉強しなくてはいけないという思いが薄くなって、自分で作った教材で自分で学習するという主体性につながると 생각합니다。単語には必ずイラストが添えられていますし、視覚的にイメージを持ちやすく、発音どおりの片仮名表記は、声に出して学習に取り組むことができます。動作、気分、様子を表す単語には、日常生活の中でよく使うであろう場面の例文も併記されていますので、生活に結びついた英語の習得につながると考えました。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 生活の中の英語を学ぶと、実際に学び、話したくなると思います。そこで、その思いをかなえることができるような内容の

4 番の「ネイティブみたいな発音になれる！小学校の英語レッスン 1 アルファベット・英単語」についてお話しさせていただきます。この図書は、話すことを中心に学習を進め、1 回の学習を 10 分としているところは、特別支援学級の子どもたちにとって適切な課題・時間設定であると思います。ICT 機器が導入され、特別支援学級の子どもたちにとっても、クロームブックやタブレットなどを学校で使うことがごくごく当たり前になってきている現状で、この図書に添付されている 2 次元コードを読み取り、生徒自ら動画を視聴し、音声を聞きながら発音の学習を進めることができることは、現在の学校の学習環境にも合っていると考えます。

以上です。

委員長 そのほか。宮崎委員。

宮崎委員 今、加瀬委員がお話しされた図書に対して、3 番の「できる！！がふえる↑ドリル英語アルファベットと英単語」は、書くことを中心に学習を進めていくつくりになっています。1 回分が 1 ページの構成で、無理なく学習に取り組むことができ、終わりが明確なため、児童の負担も少ないと考えます。また、スモールステップでアルファベットと基本単語を定着させるよう構成されており、なぞり書きからのスタート、4 本の線が必ずあることは、書字が苦手な児童にとっても、文字のバランス、あるいは、正しい形、そして、運筆を無理なく学ぶことができます。できたを積み重ねることで学習意欲を維持して、英語の基礎力の定着が期待できると考えました。

以上です。

委員長 そのほかいかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 私は２番の「小学ひとつひとつわかりやすく 小５英語をひとつひとつわかりやすく。」についてお話しします。この本は、より教科書らしい配置になっていて、中学生として知っておいたら英語が楽しくなるであろう会話や、使いたくなる単語が分かりやすく掲載されており、英語に興味関心を持っている生徒にとって、英語学習を進めていく上で大変に有効であると思います。また、ＣＤが添付されているため、書くことが苦手な生徒、聞くことが優位な生徒にとって、英語学習をより身近に感じることができ、意欲的に学習を進められると考えられます。様々な国や習慣、文化も織り交ぜながら紹介されており、異文化学習のきっかけづくりになると思います。

以上です。

委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。では、よろしいですか。

(なし)

委員長 ありがとうございます。

それでは、ここまで一般図書について皆様の御意見を伺ってきましたが、子どもの実態や発達段階に応じて、幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は、「●」の発行者による供給が困難となった図書を除いて、引き続き使用できること、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書はいずれも適切であることということでよろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長 それでは、ほかに御意見がないようですので、議題１「令和

9 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議はここまでとしたいと思います。

続きまして、議題 2 「令和 9 年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の審議を行いたいと思います。

前回の答申では、特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書に関する審議結果については、一般図書についての総括的な考えを答申として示し、会議録を添付資料としておりました。今回の答申をどのような形にするか、御意見を伺いたいと思います。武田委員。

武田委員 今回も前回と同様の形がよいと思います。前回の答申や会議録を拝見しましたが、それぞれの一般図書について審議された上で、それを踏まえて総括した考えを答申としていました。

委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。太田委員。

太田委員 私も武田委員の意見に賛成です。新規のものや複数種目で申請のある一般図書について様々な意見が出されましたが、先ほど委員長がまとめてくださったように、どの図書についても適切であるという同様の趣旨の意見だったと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。加瀬委員。

加瀬委員 私も 2 人の委員の意見に賛成いたします。審議の結果を前回のように、委員の皆さんの意見を総括的にまとめたものを答申として、参考として会議録を添付するのがよいと思います。

委員長 ありがとうございます。それでは、答申については、審議の内容を総括的にまとめたものとし、会議録については参考に添

付をするという御意見をいただきましたが、その方向でよろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長 それでは、答申については、本日開催しました「令和 9 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用の教科用図書についての審議」の内容を審議の結果として総括的にまとめ、答申するとともに、資料として会議録を添付することといたします。

改めて、議題 2 「令和 9 年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」確認をいたします。審議の結果として、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は「●」の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用ができること、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書は、いずれも適切であることと考える旨をまとめて答申したいと考えますが、いかがでしょうか。

(各委員了承)

委員長 それでは、議題 2 についての審議を終了いたします。

これで予定された議題に関する審議は終わりましたが、全体を通して委員の皆様から何か御意見はございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

委員長 それでは、事務局から何かございましたらお願いします。

事務局

それでは、今後の予定について説明いたします。事務局といたしましては、今後、本審議委員会の会議録を作成いたしまして、審議委員長に確認いただきます。審議委員長におかれましては、ただいまの審議結果を踏まえて答申を作成いただき、会議録を資料として添付していただきます。その後、審議委員長から教育長への答申を行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。

委員長

ありがとうございます。

それでは、これもちまして全ての審議を終了いたしましたので、第2回令和9年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。皆様、本日はありがとうございました。